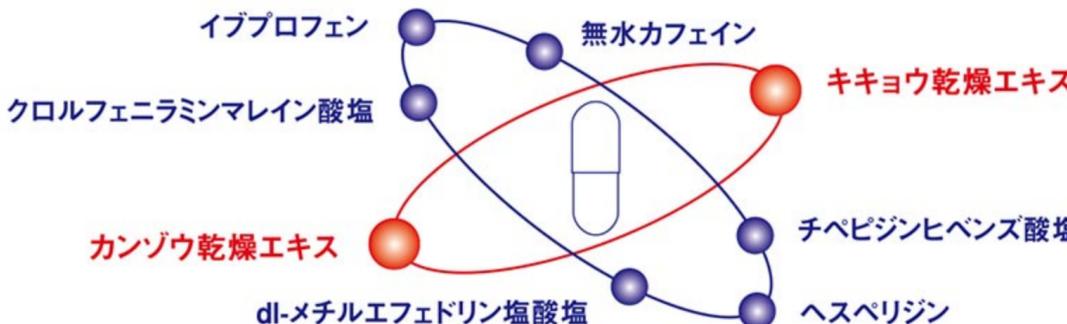


かぜによる **のどの痛み・発熱・せきに**

総合かぜ薬 **ハヤオキIB**

イブプロフェン + 和漢生薬配合

「ハヤオキIB」は、解熱鎮痛成分イブプロフェンが「つらい熱・のどの痛み」をともなう“かぜ”にすぐれた効き目を発揮します。
「ハヤオキIB」は、イブプロフェンをはじめ、和漢生薬のカンゾウ、キキョウを含む8種の成分がバランスよくはたらいて、せきやたん、鼻水、鼻づまりなど、かぜのいろいろな症状を緩和するかぜ薬です。



⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください(眠気等があらわれることがあります。)

4. 服用前後は飲酒しないでください

5. 5日間を超えて服用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

- (8) 次の病気にかかったことのある人。 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状	関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる	呼吸器	息切れ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便	泌尿器	排尿困難
精神神経系	めまい	その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中 の痛み、過度の体温低下、からだがだるい
循環器	動悸		

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。

肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつばりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
心筋梗塞*	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害*	意識の低下・消失、片側の手足が動かしくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

便秘、口のかわき、眠気

4.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能又は効果】

かぜの諸症状(のどの痛み、頭痛、発熱、せき、たん、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

【用法及び用量】

次の量を、食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2カプセル	3回
15歳未満	服用しないこと	

【用法及び用量に関連する注意】

(1)用法及び用量を厳守してください。

(2)カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

PTPシートの取り出し図



【成分及び分量と働き】 1日量(6カプセル)中

	成分	分量	働き
解熱鎮痛剤	イブプロフェン	450mg	熱を下げ、頭痛やのどの痛みをやわらげます。
抗ヒスタミン剤	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどを抑えます。
鎮咳剤	チペピジンヒベンズ酸塩	75mg	せき中枢に作用し、せきをしずめます。
気管支拡張剤	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげ、せきをしずめます。
カフェイン剤	無水カフェイン	75mg	頭痛をしずめます。
ビタミン類	ヘスペリジン	90mg	毛細血管の強化作用により炎症を抑えます。
生薬	キキョウ乾燥エキス (原生薬換算:400mg)	89mg	せきやたんに関与、かぜの回復を助けます。
	カンゾウ乾燥エキス (原生薬換算:900mg)	180mg	せきをしずめ、炎症を抑えて、かぜの回復を助けます。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、バレイショデンプン、乳糖水和物、結晶セルロース、カルメロースCa、カプセル剤皮に、ゼラチン、酸化チタン、マクロゴール、ラウリル硫酸Naを含有します。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
4. 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

薬王製薬株式会社「お客様相談室」
電話 0744-33-8855
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)